



檜垣村

頼煥いろうの件のお札

梅屋の飯のつらや

本屋の紙

様事

皆や吐息のつらや

竹柄の里井つと

雑子あつと  
五村

因





Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document fragment. The text is written on a piece of aged, yellowed paper. The characters are dense and difficult to decipher precisely, but appear to be a continuous flow of writing.

國村三回日



特別  
A5  
6587  
9



二五

見れば色は白く  
あはれし世も  
先ん  
此は速成の  
珍重の  
子も  
御入  
本は  
此は  
了上

二、十一、  
村

由

い

家  
住  
か



由平書士之破り  
こり

余もくも集て死て  
家—牛の類

住し其松よあか  
かきこしわ

門—あまこあま  
こつすああらハ

あまこあまあま  
あまの向い書りし

あまあまのりて備  
あまあまあま

川海も糸細も持  
甲のあま

あまあまの書り大  
あまあまあま

あまあまあまあま  
あまあまあまあま  
あまあまあまあま



此の書は...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ

あはれおのれおのれ